

活動
報告『島ヶ原と西山の28災害地を歩く』を
開催しました！

【池田 河川レンジャー 企画】



災害跡地などを巡り、水害の歴史や治水対策を学びました。集中管理センター資料室では遊水地のしくみや役割について教えてもらいました。島ヶ原や西山地区では、山津波を体験された方から当時の状況や山津波後の復興のお話を聞き、実際に被害があった場所を見学しました。

開催概要

- 日時：令和7年11月8日(土)
- 場所：集中管理センター、島ヶ原・西山地区
- 参加者数：5名
- 実施内容：治水と水害の歴史について
島ヶ原・西山の28災害地の見学



参加者からの声

- 実際に水害の被害にあわれた方に話を聞いたこと。
- はつでんしょのあとを見た。
- いろんな植物がいっぱいあった。
- 重機の無い時代に人の力で復興し、時間がかかって完成に至った。その歴史の上に今の生活がある。

◆活動のようす



活動前のミーティング



遊水地の説明のようす



鍵屋の辻での浸水記録の説明



淀川遡航終点の碑での説明



巖倉発電所跡での説明



巖倉発電所跡見学のようす



島ヶ原の方から山津波の説明



西山の方から山津波の説明



西山の被災場所見学のようす